

科目区分	専門基礎分野	科目名	保健医療論	対象学生	第3学年
		単位数 (時間数)	1単位 (15H)	学 期	第1学期
担当講師	非常勤講師				
科目目標	生活者が健康な生活を確保するために、医療が果たす役割と課題を理解する。				
授業概要	<p>第1回 医学・医療のあゆみ (講義)</p> <p>第2回 医学と医療 (講義)</p> <p>第3回 健康と疾病 (講義)</p> <p>第4回 医療供給体制 (講義)</p> <p>第5～6回 現代医療における諸問題 (講義)</p> <p>第7回 まとめ (講義)</p> <p>第8回 終了試験</p>				
看護師国家試験出題基準	<p>医の倫理、医療の発展、再生医学・再生医療、国民の健康に関する問題の背景、国民健康づくりのあゆみ、健康づくりの概念、健康づくり活動-衛生・保健との連携、臨床疫学-医療における合理的判断)</p> <p>医療における医師-患者の関係・医療における医師の義務、現代医療におけるチーム医療、チームケア)</p> <p>健康の概念、健康への意識、疾病の概念、疾病に対する意識、病の体験、わが国の疾病構造の変化、生活習慣病の概念、疾病の成り立ちと原因、生活と健康、現代人の不健康感と社会生活のストレス、ライフサイクルの中の病、生活環境、生活と環境衛生、保健・福祉行政、予防的定期的総合健診の意義、労働衛生、救急医療と蘇生術、安全管理(セーフティマネジメント)</p> <p>わが国の医療制度の特徴、医療計画推進の経過、医療法の改正の経過、医療提供体制の改革と整備、地域包括ケア医療施設の動向、医療サービスの推進、プライマリケア、かかりつけ医と病診連携、救急医療の充実、へき地医療の確保、診療所と病院、病院機能評価の推進、医療保障・医療保険制度のあゆみ、医療保険、老人医療、高齢者介護をめぐる問題、障害者総合支援法、ノーマライゼーション、保健・医療・福祉におけるボランティアの活動の意義、児童虐待、DV防止法</p> <p>家族内介護者の変化、少子高齢化社会と世代間のきづな、国民医療費の動向、医療保障の今後の課題</p> <p>有訴者の状況、有病率・罹患率、受療行動・受療率、通院者率、現代医療の倫理、生命倫理の4原則、先端医療と倫理問題、臨床医学研究と倫理、インフォームドコンセントと医療情報の開示、医療情報の開示と診療録、情報管理(個人情報保護)、QOL、現代医療の倫理、生命倫理の4原則、先端医療と倫理問題、臨床医学研究と倫理、生命倫理と臨床倫理学の展開、患者の権利尊重の医療背景、患者の権利主張とその承認、患者の自己決定権、病状の告知、死の告知、がん告知、死の告知と死の受容と医師の責任、脳死と臓器移植、死の判定、移植医療の問題、死と生命保持、安楽死、死を共有するターミナル・ホスピス医療、依存症対策)</p>				
授業の進め方	テキストおよびトピックスを使って授業を進める。				
履修のポイント、留意事項	実習で経験してきたことを踏まえ、よりよい医療について、各人が考え、意見を述べるように積極的な授業参加を期待する。				
テキスト	現代医療論 メヂカルフレンド社				
評価方法・配点	終了試験 (100点)				